Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2016-2017

人類に奉仕するロータリー

Rotary

Vol.12 ガバナー月信 2017.6.1

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
セミナー報告 …… 3
支援事業報告…… 4
風の便り…… 7
新入会員の紹介…… 8
IM報告 …… 9
ハイライトよねやま ……10
お知らせ・ロータリー財団寄付者・米山功労者・文庫通信 …12
例会出席率＆会員数推移

〈表紙写真〉
北見市石北大通り
撮影者／三浦　奈津美

ガバナーメッセージ

2016－17年度　国際ロータリー第2500地区ガバナー **駒形　曙美**

地区内クラブ会長幹事の皆さん。北海道は快適な新緑の季節を迎えました。野山では蝉の鳴き声が初夏を告げています。

さて、2016-17年度も今月が最終月となりました。各クラブの皆さんに於きましては、残された任期の一日一日を大切にしていただきたいと思います。

ミャンマー・カレン州の学校建設奉仕プロジェクトについて

去る、5月1日から5月4日まで、ミヤンマー・カレン州で実施している学校建設プロジェクトの進捗状況と、タイRI3330地区で実施した学校水浄化装置の視察等のため、ミャンマー・カレン州とタイ・カンチャナブリ―州へ行ってきました。

ミャンマーの少数民族カレン族は、民族的、宗教的にミャンマー中央政府と敵対関係にあったことから、著しい貧困生活と教育の遅れを余儀なくされました。

しかし2012年1月中央政府と停戦合意が成立して、やっと平和を取り戻すことになりました。
生活と教育の基盤整備が遅れていることから、教育に最も必要な什器等を含む学校建設を実施することとなりました。

このプロジェクトはタイＲＩ第3330地区の3クラブが世話クラブとなって、日本のＲＩ第2500地区とRI第2670地区、それにマレーシアのＲＩ3300地区の3ケ国4地区合同のグローバル補助金による奉仕プロジェクトです。

建設現場の視察には、タイRI第3330地区のリーダーをはじめ、関係者数名が案内を兼ねて参加することとなり、当地区からはガバナー、ガバナーエレクト、ロータリー財団副委員長兼補助金小委員長の3名、更にRI第2670地区からはガバナー、国際奉仕委員長兼国際奉仕フアンド委員長の2名が参加しました。

摂氏40度を超えるという山岳地帯の厳しい炎天下で、学校建設作業は坦々と行われていました。私達視察団の一行は、一日も早い完成を願って現地を後にしました。

タイRI3330地区水浄化装置の利用状況について

当地区の旭川モーニングクラブがタイ・カンチャナブリ―とサンクラブリー地域に設置した、学校の水浄化装置の使用状況を視察しました。
浄化装置の設置後は、故障のトラブル等もなく順調に稼働していました。学校関係者からは、児童生徒の飲料水が確保できたことに、大変感謝されていることが分かりました。

これら一連のプロジェクトで共通する問題は、浄化装置を設置する場合、並行して技術指導を行い、現地でメンテナンスの対応ができるように支援することが、最も重要なことではないかと思います。

ガバナーメッセージ

RI第2840地区年次地区大会に参加して

昨年秋当地区の地区大会に参加されましたRI第2840地区豊川一男ガバナーの年次地区大会が、去る4月15日（土）、16日（日）の両日、群馬県前橋市で開かれ、返礼も兼ねて参加してきました。

本州は、地区大会を年度の後半に開催する地区が比較的多いということです。地区大会には、横須賀RC所属で、RI第2780地区の渡辺治夫パストガバナーが、RI会長代理として出席され開催されました。

この地区大会の特徴は、ホストクラブが地区大会と、記念ゴルフ大会の二つあって、それぞれのクラブが別々に役割を分担して開催していました。

また、7クラブが所属する一つの分区が、コ・ホストクラブを務めていました。今後当地区に於いても、小規模クラブが開催する行事等で、大変参考になる方法ではないかと思います。

RI第2840地区は46クラブで、8分区に分かれています。本年3月末現在の会員数は2,109人で、当地区とほぼ同じ規模の地区となっています。

また地区大会が開催された前橋市は、人口約340,000人で、群馬県では高崎市の約370,000人に次ぐ都市であり、群馬県の県庁所在地となっています。

古くは厩橋と書き、江戸時代に前橋に改められました。初めの読み方は「まやばし」それからの読み方は、「うまやばし」であったといわれています。

明治時代には、製糸業で栄えた都市の一つで、戦後は、工業誘致を積極的に行い、区画整理を推進してきました。

2001年（平成13年）4月1日に国の特例市に指定され、2009年（平成21年）4月1日に中核市へ移行しました。中心地域は、旧東群馬郡前橋町を中心とする地域となっています。

市章は1,909年（明治42年）の制定で、旧前橋藩主越前松平の馬印「輪貫」（わぬき）から採用されたといわれています。街並みも重厚感があり、歴史と伝統を感じる都市でした。

ロータリー親睦活動月間について

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。レクリエーションや職業で同じ関心を持つロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間です。

RI理事会は、プロジェクト、活動、行事を通じてこの月間を祝うよう、これらのグループに奨励しています（ロータリー章典42.020.1）。

国際ロータリー第1･第2･第3ゾーン 会員基盤向上セミナー報告

ＲＩ第2500地区
2017-2018年度会員増強委員長 **東海林　勉**(遠軽RC)
2017-2018年度ガバナー **成瀬　則之**(網走RC)
2017-2018年度地区幹事 **本間　公三**(網走RC)

ガバナー月信５月号(Vol.11)の「セミナー報告」(14～15頁)で報告された「セミナー第1日目～会員増強維持とクラブ活性化の部」では、20のプログラムが発表されました。その中から四つをセレクト、録画ビデオとデータを組み合わせてビデオを作成しましたので、是非、ご覧いただき、皆様のクラブでの会員増強・維持、拡大等に役立ててほしいと思います。

ご希望の方はクラブを通してガバナーエレクト事務所までお申し出ください。（締め切り６月20日まで）

ガバナーエレクト事務所

住所　〒093-0074　網走市北４条西3丁目5-14　ぽらりす2Ｆ
Tel　(0152)67-7678　Fax (0152)67-7673　E-mail：2500@abashiri-rc.jp

＊ビデオコンテンツ

“会員増強維持とクラブ活性化　セレクトビデオ”
１．開会挨拶“挨拶に替えて”　ＲＩ理事　斎藤 直美【12：41】
２．具体的な会員増強への手法の提案　　プロジェクトリーダ補佐　鈴木 隆志【42：16】
３．講演「新しい風 ～クラブ拡大とその後～」　第2ゾーン ARRFC　舟木 いさ子【30：21】
４．会員維持で地区に出来ること　RID2750ガバナーノミニー　服部 陽子【14：24】
※ビデオ形式：ブルーレイ（BD-R）／収録時間：約１時間40分／メニュー入り

ミャンマー・カレン族支援事業報告

R財団副委員長 笹谷　芳夫

この5月の連休を利用し、当地区から駒形ガバナー、成瀬ガバナーエレクト、私、さらに四国RI第２６７０地区からは前田ガバナーご夫妻、篠田国際フアンド委員長がタイ王国カンチャナブリーにて合流し、国境の峠を越えミャンマー・カレン族のKamahor村を訪問し数多くの貴重な経験をしましたので、ご報告します。

ことのきっかけは、昨年9月、私と荒井剛（釧路RC）氏の2名で、国際スポンサーをしているグローバル補助金事業（プーケット市内の水と衛生事業）の視察旅行中の何気ない会話から始まった。このグローバル補助金事業には直接関係はなかったが、我々がプーッケット入りするというので、オラチョーンPDGが多忙な中、半日時間をとり昼食と市内見学に誘ってくれた。その中で、実はマレーシア・タイ３３３０地区と共同でカンチャナブリー市に国境を接するミャンマー・カレン族の小さな村に学校を建てる計画があり資金の半分はマレーシア側で出すのだが、タイの３３３０地区側は十分な資金が無い。ついては日本サイドでなにがしかの資金支援をしてもらえないだろうかとの話であった。その時の話では総額5万5千ドルのうち2万ドルの資金が不足しているとの話であった。当時学校建設はまだグローバル補助金の対象外であったこともあり、直接現金での支援にならざるを得ないことでもあり、話は持ち帰って担当委員会や知り合いの他地区へ打診をしてみるので、資料を一式送ってもらうことにした。送っていただいた資料は当地区の担当委員会である「リソーストサポート委員会」の河崎委員長に送り、委員会で検討していただくと同時に、オラチョーンPDGとも直接面識もあり、グローバル補助金事業を実施した四国の２６７０地区へも打診した。四国からはすぐに前向きに検討したいとの返事とともに、4教室の学校が5万５千ドルというのはやや高い感じがするので、値下げ交渉が必要ではないかとの提案があった。早速、２５００地区、２６７０地区とも前向きに検討したいが、今一度建設コストの値下げ交渉をしていただけないだろうかとの提案をおこなった。現地で実際の指揮をとることになるソンポップPDG（この2か年間国際協議会の研修リーダーをしており急速に頭角をあらわしてきている３３３０地区のシニアリーダー）から、建設会社との厳しい交渉の結果、4万5千ドルで最終的に交渉が成立したので、日本からはあわせて1万５千ドルの現金支援をお願いしたい旨のメールが入った。２６７０地区と協議の末、両地区共に7千５００ドルで合わせて１万５千ドルの日本側の支援を実施するということで了解が得られた。話があまりにトントン拍子にすすみ、またたく間に5月には校舎が完成し引き渡し式が可能だとの連絡が入り、両地区相談の上、両地区のガバナー他、関係者で5月の連休にミャンマーへ行こうという話になり、ビザ取得の為のパスポートのコピーまで送り、航空券も購入、ホテル予約等も準備万端整ったところで、突然タイ・ミャンマーの長い正月休みの為長期間にわたり工事がストップしてしまい、２ヶ月程ずれ込んでしまうとの連絡が飛び込んで来た。今更すべての日程をキャンセルするというわけにも行かないから、我々だけでも現地視察をして現状認識をしっかりと持つようにしようということにした。何分にも急な旅程の作成であったため、個人個人の調整が難しく、当初駒形ガバナーは釧路RCと中標津RCが共同で国際スポンサーをし

支援事業報告

ているプーケットのグローバル補助金事業の引き渡し式にもご出席いただける予定だったが、四国の前田ガバナーご夫妻とご一緒にバンコクから成田へと帰国することになった。

５月３日いよいよ国境の峠を越えてミャンマーに入国。それまでの舗装道路は一転泥んこ道に変わったと同時に左側通行から右側通行へ。周辺の農地は明かに焼き畑農業での焼け焦げた木々。住居は高床式の掘立小屋。タイとてこれといって発展した土地柄（特に地方は）ではないにもかかわらず、ミャンマーは古代の生活そのものといった感じのタイムスリップでもしたかのような不思議な感覚にとらわれた。実際我々が訪問したKamahor村は、粗末な学校・教会・公民館の共同施設のようなものがあるだけ。後で我々をガイドしてくれた、カレン族の青年の説明によると、この村の事業は、数年前までKNU(カレン軍事連盟・カレン民族解放軍)とミャンマー中央政府軍との間で反政府戦争をおこなっていたが２０１２年に歴史的な停戦合意がなされ、タイ側へ大量に流入していたミャンマー難民も含めた「カレン民族難民帰還事業」とでもいうべきモデル事業で、小学校（４年制）、中学校（４年制）、水供給設備、病院、教会等のインフラ整備を終えた後には現在５００名５０世帯程度の村を数千人規模の村にして、カレン族（約４００万人）のモデル事業にするとのことであった。またそのために海外のロータリーも含めたすべての皆さんに協力をお願いしているとのことであった。実際、教会（この村はキリスト教に集団改宗している）や、小中学校（小学校４年制・中学校４年制）はキリスト教団体からの支援とロータリーからの支援でもうすぐ完成予定であった。次々と発生する問題は多国間が絡む事業、開発途上国での事業を推進することの難しさを改めて認識させられた。しかし、そのすべてが等しく重要なものであることには論を俟たないものであり、これに続く水事業（山間部に貯水タンクを設置し重力による自然給水設備）、さらに病院建設へと続いて行く。ロータリーとして果たしてどこまで関与すべきなのか、関与できるのか非常に微妙でかつセンシティブな問題でもある。最後にカレン族の青年が第二次世界大戦の時のそれまで支配し

訪問したKamahor村

建設途中の中学校

完成近い小学校

新築される教会

支援事業報告

ていた英国人に比べての率直な印象なのであろう日本人を「小さな人」という呼び方をしていたこと、日本軍と共に英国軍と戦いその後カレン族の娘たち達との間に沢山の混血児が産まれ今も沢山この地に住んでいるという話は私の耳からはなれない。ビルマ戦線で数多くの日本兵、イギリス兵、オーストラリア兵のみならず、沢山の地元住民をも巻き込んだ戦争。日本軍兵士の一部はそのままビルマやタイに残り、ビルマ独立戦争を指揮した歴史的事実は、こころにズシリと差し込んでくるような、現地へ実際行ったものでなければ感じ取ることができないであろう重みを感じた。また同時に我々はなんと全く何も知らないのだろうということをつきつけられた現実でもあった。詳細は実際の写真を参考にしてもらいたい。

村の高床式住居

建設現場での集合写真

村の村長さん

村の子ども達への寄贈式

子供達に挨拶する駒形・前田両ガバナー

学用品の寄贈

風の便り

Vol.2 No.14(通刊35号)

３月の卒業、４月の進級・入学と事務局としては最も忙しい時期となっています。

2016～2017 年度　前３ヵ月の動き

４月 30 日現在の収支計算

		２末月累計	３月末実績	４月末実績
前月繰越金		463,909,915	460,634,499	458,648,987
収入の部	支援金	3,338,822	4,684,770	1,867,736
	雑収入	294	0	0
収入合計		467,249,031	465,319,269	460,516,723
支出の部	奨学金	6,600,000	6,600,000	4,900,000
	振込手数料	0	0	0
	設備費	0	0	0
	通信費	14,532	31,117	4,700
	手数料	0	0	0
	消耗品費	0	39,165	0
	会議費	0	0	0
	備品費	0	0	350
	雑費	0	0	0
支出合計		6,614,532	6,670,282	4,904,700
次月繰越金		460,634,499	458,648,987	455,612,023

３月度地区別実績

2510 地区	１件	50,000 円	2710 地区	１件	27,500 円
2540 地区	１件	275,511 円	2720 地区	２件	189,011 円
2570 地区	２件	358,000 円	2790 地区	２件	153,439
2580 地区	６件	814,275 円			

※　地区、クラブ、支援者名はホームページをご覧下さい

年度	現在	人数	前期継続	新規	復学	退学	休学	留年	終了	停止	卒業	次期継続
175	100	175	128	45	3	0	0	0	2	24	43	130

奨学生の状況(単位：人数)

４月 30 日現在の支給者は 100 名となっています。停止者は 24 名です。進級後の新たな在学証明書の提出がありませんので、給付を停止しております。また、申請時に高校生であった人で、入学後の在学証明書の提出が無いもの 10 名には、給付を開始していません。

文責：委員長/地葉新司/2010-2011PG/潟上 RC）

2017/05/09

新入会員の紹介

2017.4.10 以降入会分

■第2分区
名寄ロータリークラブ
片岡　洋
●地域金融機関
●昭和48年1月30日生
●4月18日入会

■第2分区
名寄ロータリークラブ
宮田史子
●電気事業
●昭和39年8月8日生
●4月18日入会

■第2分区
士別ロータリークラブ
奈良雄二
●信用金庫
●昭和37年12月27日生
●4月1日入会

■第2分区
下川ロータリークラブ
北明敏之
●金融
●昭和37年9月11日生
●4月12日入会

■第3分区
上川ロータリークラブ
南　紀行
●下水処理業
●昭和48年12月8日生
●4月1日入会

■第3分区
旭川南ロータリークラブ
田邊和彦
●生命保険
●昭和40年11月14日生
●4月17日入会

■第3分区
美瑛ロータリークラブ
蔵重　満
●農産物販売
●昭和37年7月20日生
●4月17日入会

■第3分区
富良野ロータリークラブ
小松孝裕
●電気事業
●昭和37年1月19日生
●4月13日入会

■第4分区
雄武ロータリークラブ
白石豊喜
●信用金庫
●昭和41年7月29日生
●4月12日入会

■第4分区
雄武ロータリークラブ
川村公人
●旅客運搬業
●昭和26年10月17日生
●5月10日入会

■第5分区
留辺蘂ロータリークラブ
福祉登美夫
●金融業
●昭和37年5月5日生
●4月25日入会

■第5分区
美幌ロータリークラブ
佐々木天洋
●地方金融
●昭和40年12月30日生
●4月6日入会

■第5分区
清里ロータリークラブ
小野寺将司
●信用金庫
●昭和50年10月11日生
●4月1日入会

■第5分区
北見ロータリークラブ
細野拓朗
●商業銀行
●昭和39年2月28日生
●5月10日入会

■第5分区
斜里ロータリークラブ
山本大介
●信用金庫
●昭和50年8月8日生
●4月12日入会

■第6分区
清水ロータリークラブ
横井　豊
●信用金庫
●昭和48年9月30日生
●4月6日入会

■第6分区
音更ロータリークラブ
後藤幹裕
●医師
●昭和49年3月30日生
●4月10日入会

■第6分区
広尾ロータリークラブ
今野裕樹
●信用金庫
●昭和48年8月26日生
●4月17日入会

■第7分区
釧路ロータリークラブ
清水　寧
●生命保険
●昭和42年11月16日生
●4月13日入会

■第7分区
釧路ロータリークラブ
日理一哉
●信用金庫
●昭和49年2月20日生
●5月11日入会

■第7分区
釧路ロータリークラブ
今野　了
●銀行
●昭和34年5月17日生
●5月11日入会

■第7分区
白糠ロータリークラブ
岸部芳洋
●信用金庫
●昭和54年1月31日生
●4月28日入会

■第8分区
根室西ロータリークラブ
松井芳憲
●信用金庫
●昭和51年10月15日生
●4月14日入会

■第8分区
根室ロータリークラブ
守屋康弘
●銀行
●昭和46年6月30日生
●4月18日入会

■第8分区
根室ロータリークラブ
山　中　裕　也
●保険
●昭和53年12月28日生
●4月18日入会

■第8分区
別海ロータリークラブ
田　中　博　行
●農業協同組合
●昭和35年4月22日生
●4月19日入会

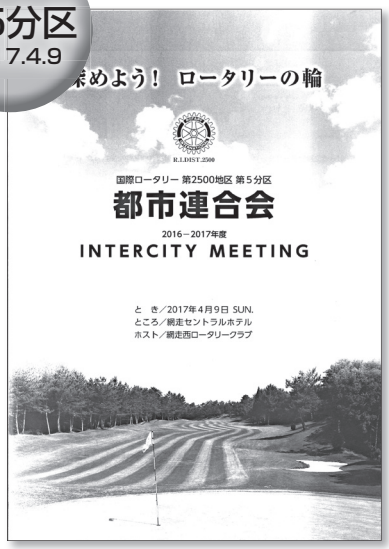
■第8分区
別海ロータリークラブ
千　葉　直　樹
●自動車整備
●昭和49年4月8日生
●4月26日入会

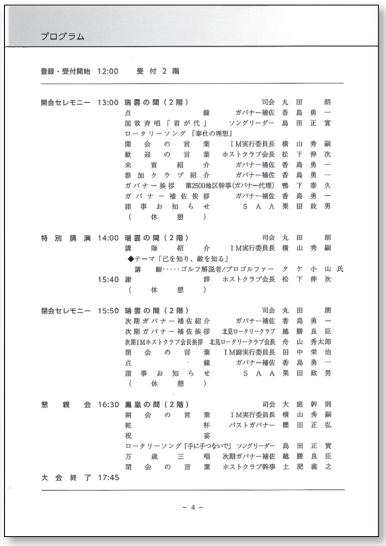
■第8分区
別海ロータリークラブ
宍　戸　恒　男
●清掃業
●昭和44年1月7日生
●4月26日入会

■第8分区
中標津ロータリークラブ
村　井　裕　之
●電力供給
●昭和37年9月24日生
●4月1日入会

ＩＭ報告

第5分区
2017.4.9





プログラム

登録・受付開始 12:00　受付２階

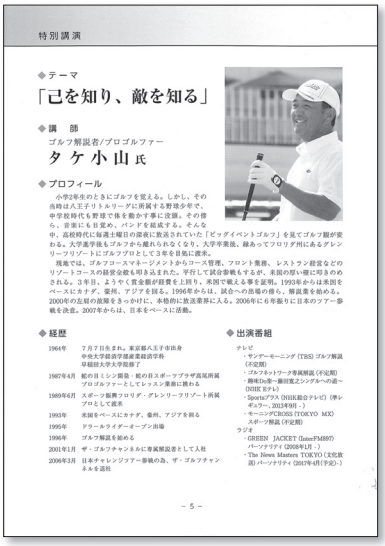
開会セレモニー 13:00 瑞雲の間（２階）
司会　丸田　朗
点　鐘　ガバナー補佐 香島勇一
国歌斉唱「君が代」　ソングリーダー 島田正實
ロータリーソング「奉仕の理想」
開会の言葉　ＩＭ実行委員長 横山秀嗣
歓迎の言葉　ホストクラブ会長 松下伸次
来賓紹介　ガバナー補佐 香島勇一
参加クラブ紹介　ガバナー補佐 香島勇一
ガバナー挨拶　第2500地区幹事(ガバナー代理) 鴨下幸久
ガバナー補佐挨拶　ガバナー補佐 香島勇一
諸事お知らせ　ＳＡＡ 栗田政男
（休憩）

特別講演 14:00 瑞雲の間（２階）
司会　丸田　朗
講師紹介　ＩＭ実行委員長 横山秀嗣
◆テーマ「己を知り、敵を知る」
講師‥‥ゴルフ解説者/プロゴルファー　タケ小山氏
15:40 謝辞　ホストクラブ会長 松下伸次
（休憩）

閉会セレモニー 15:50 瑞雲の間（２階）
司会　丸田　朗
次期ガバナー補佐紹介　ガバナー補佐 香島勇一
次期ガバナー補佐挨拶　北見ロータリークラブ 越膳良臣
次期IMホストクラブ会長挨拶　北見ロータリークラブ会長 舟山秀夫郎
閉会の言葉　ＩＭ副実行委員長 田中栄治
点　鐘　ガバナー補佐 香島勇一
諸事お知らせ　ＳＡＡ 栗田政男
（休憩）

懇親会 16:30 鳳凰の間（２階）
司会　大底幹別
開会の言葉　ＩＭ実行委員長 横山秀嗣
乾杯　前ガバナー 櫻田正弘
祝宴
ロータリーソング「手に手つないで」　ソングリーダー 島田正實
万歳三唱　次期ガバナー補佐 越膳良臣
閉会の言葉　ホストクラブ幹事 土肥歳之
大会終了 17:45

－４－



特別講演

◆テーマ
「己を知り、敵を知る」

◆講　師
ゴルフ解説者/プロゴルファー
タケ小山氏

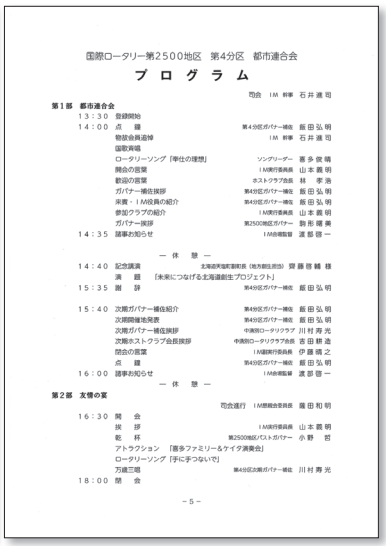
◆プロフィール
小学2年生のときにゴルフを覚える。しかし、その当時は八王子リトルリーグに所属する野球少年で、中学校時代も野球で体を動かす事に没頭、その傍ら、音楽にも目覚め、バンドを結成する。そんな中、高校時代に毎週土曜日の深夜に放送されていた「ビッグイベントゴルフ」を見てゴルフ眼が変わる。大学進学後もゴルフから離れられなくなり、大学卒業後、縁あってフロリダ州にあるグレンリーフリゾートにゴルフプロとして３年を目処に渡米。
現地では、ゴルフコースマネージメントからコース管理、フロント業務、レストラン経営などのリゾートコースの経営全般も明まる流まれた。平行して試合参戦もするが、来国の思い切に明きのめされる。３年目、ようやく賞金額が経費を上回り、米国で戦える事を証明。1993年からは米国をベースにカナダ、豪州、アジアを回る。1996年からは、試合への出場の傍ら、解説業を始める。2000年の左足の故障をきっかけに、本格的に放送業界に入る。2006年に６年振りに日本のツアー参戦を決意。2007年からは、日本をベースに活動。

◆経歴
1964年　７月７日生まれ。東京都八王子市出身
中央大学経済学部産業経済学科
早稲田大学大学院修了
1987年4月　初の日ミシン開局・初の日スポーツプラザ高尾所属
プロゴルファーとしてレッスン業務に携わる
1989年6月　スポーツ振興フロリダ・グレンリーフリゾート所属
プロとして渡米
1993年　米国をベースにカナダ、豪州、アジアを回る
1995年　ドラーカライダーオープン出場
1996年　ゴルフ解説を始める
2001年1月　ザ・ゴルフチャンネルに専属解説者として入社
2006年3月　日本チャレンジツアー参戦の為、ザ・ゴルフチャンネルを退社

◆出演番組
テレビ
・サンデーモーニング（TBS）ゴルフ解説（不定期）
・ゴルフネットワーク専属解説（不定期）
・朝練3ホン目－最注度エンジョイゴルフ－（NHK Eテレ）
・Sportsプラス（NHK総合テレビ）（伊ギュラー、2013年9月－）
・モーニングCROSS（TOKYO MX）
スポーツ解説（不定期）
ラジオ
・GREEN JACKET（InterFM897）
パーソナリティ（2005年4月－）
・The News Masters TOKYO（文化放送）パーソナリティ（2017年4月（予定）－）

－５－

第4分区
2017.4.15

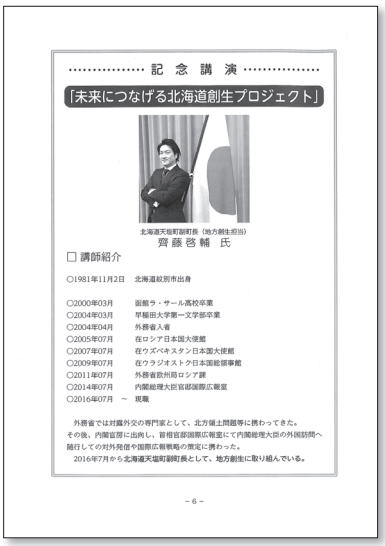


国際ロータリー第２５００地区　第４分区　都市連合会
プログラム

司会　ＩＭ幹事　石井進司

第１部　都市連合会
13：30　登録開始
14：00　点　鐘　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
物故会員追悼　ＩＭ幹事　石井進司
国歌斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」　ソングリーダー　喜多俊晴
開会の言葉　ＩＭ実行委員長　山本義明
歓迎の言葉　ホストクラブ会長　林　孝浩
ガバナー補佐挨拶　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
来賓・ＩＭ役員の紹介　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
参加クラブの紹介　ＩＭ実行委員長　山本義明
ガバナー挨拶　第2500地区ガバナー　駒形暖興
14：35　諸事お知らせ　ＩＭ会報監督　渡部啓一
―休憩―
14：40　記念講演　北海道天塩町副町長（地方創生担当）　齊藤啓輔 様
演題「未来につなげる北海道創生プロジェクト」
15：35　謝辞　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
15：40　次期ガバナー補佐紹介　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
次期開催地発表　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
次期ガバナー補佐挨拶　中演田ロータリクラブ　川村寿光
次期ホストクラブ会長挨拶　中演田ロータリクラブ会長　吉田精逸
閉会の言葉　ＩＭ副実行委員長　伊藤晴之
点　鐘　第4分区ガバナー補佐　飯田弘明
16：00　諸事お知らせ　ＩＭ会報監督　渡部啓一
―休憩―
第２部　友情の宴
司会進行　ＩＭ懇親会委員長　篠田和明
16：30　開　会　ＩＭ実行委員長　山本義明
挨　拶　第2500地区パストガバナー　小野　哲
アトラクション　「喜多ファミリー＆ケイ子演奏会」
ロータリーソング「手に手つないで」
万歳三唱　第4分区次期ガバナー補佐　川村寿光
18：00　閉　会

－５－



記念講演

「未来につなげる北海道創生プロジェクト」

北海道天塩町副町長（地方創生担当）
齊藤啓輔　氏

□講師紹介
○1981年11月2日　北海道紋別市出身
○2000年03月　函館ラ・サール高校卒業
○2004年03月　早稲田大学第一文学部卒業
○2004年04月　外務省入省
○2005年07月　在ロシア日本国大使館
○2007年07月　在ウズベキスタン日本国大使館
○2009年07月　在ウラジオストク日本国総領事館
○2011年07月　外務省欧州局ロシア課
○2014年07月　内閣総理大臣官邸国際広報室
○2016年07月　～　現職

外務省では対露外交の専門家として、北方領土問題等に携わってきた。
その後、内閣官房に出向し、首相官邸国際広報室にて内閣総理大臣の外国訪問へ随行しての対外発信や国際広報戦略の策定に携わった。
2016年7月から北海道天塩町副町長として、地方創生に取り組んでいる。

－６－

ハイライトよねやま 206

2017 年 5 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報　― 残り 2 カ月、よろしくお願いします ―

4 月までの寄付金は前年同期と比べて 9.3%減（普通寄付金 0.7%増、特別寄付金 14.0%減）、約 1 億 2 千万円の減少となりました。近年、毎年 4 月に数千万円の法人大口寄付がありましたが、今年度から当該法人については受領した株の配当金収入となり、寄付金としての扱いではなくなったことが影響しています。今年度も残すところ 2 カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいていないクラブがありましたら、お早目にご送金くださいますようお願い申し上げます。

博士号取得状況　― ご報告お待ちしています ―

2016 学年度（2016 年 4 月～2017 年 3 月）に博士号を取得した奨学生・学友は 34 人、累計では 3,598 人となりました（5 月 10 日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています（奨学期間終了後の取得でも申請可）。時計裏に名前が刻まれた、世界にただ一つの時計です。博士号を取得した奨学生・学友は、米山事務局と世話クラブに報告してください。

※発送先は原則として世話クラブです。ぜひ世話クラブ例会で贈呈してください。

申請方法　「学位記の写し」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。
FAX：03-3578-8281/ﾒｰﾙ：scholars@rotary-yoneyama.or.jp

今夏、熊本に集まりませんか？　― 感謝 in 熊本 ―

2017-18年度は財団設立50周年

ロータリー米山記念奨学会は今年 7 月、財団設立 50 周年を迎えます。これを記念して、世界の米山学友が集まり 50 周年の節目を祝う「感謝 in 熊本」が開催されることになりました。

米山学友合同会実行委員会（実行委員長 何玉翠氏）主催、第 2720 地区米山記念奨学委員会と同地区学友会がホスト、当会の後援によるイベントです。現役の米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンや家族の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください！

日時:　**2017** 年 **8** 月 **26** 日(**土**)　午後 17 時～21 時（式典＆懇親会）
場所:　ＡＮＡクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
登録料：ロータリアン 1万円、米山学友・奨学生 5千円、一般友人・家族 6 千円
申込：　日本国内在住の方は米山学友合同会へメール送信し指定口座へ振込
締切:　2017 年 7 月 31 日(状況により変動する場合があります)

※ご希望の方には申込用紙・チラシをお送りします。
また、詳細情報を後日、米山奨学会ホームページでご案内します。

帰国学友歓迎会で奨学生２期生を紹介―韓国米山学友会―

韓国米山学友会がソウル市内で４月 15 日、今年韓国へ帰国した学友の歓迎会を開きました。この行事は毎年恒例で、今年は新入会員３人を含む 30 人が参加しました。

当日は、韓国学友会と、同学友会を母体として昨年創立された韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブが協同で支援する、日本人奨学生第２期生への奨学金授与も行われました。この制度は、韓国で学ぶ日本人留学生に奨学金を支給し、学友がメンター（カウンセラー）となって留学生活を支援するもので、昨年からスタート。親交の深い台湾米山学友会が 2009 年から実施する「日本人若手研究者対象奨学金」がモデルとなっています。奨学金の原資は、韓国学友からの寄付が主ですが、今年は、韓国ロータリーの関係団体など新たな賛同者からの寄付も増え、昨年より１人増員して、３人の日本人奨学生が採用されました。歓迎会では、奨学生３人とメンターに就く学友が紹介され、メンバーたちから温かい拍手が送られました。

日本人奨学生とそのメンターとなる学友を囲んで

韓国米山学友会および韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブの副会長であり、日本人奨学生の選考委員を務める鄭亨在（ジョンヒョンジェ）さん（2011-12／本庄ＲＣ）は、「日本のロータリアンの皆さんから頂いた恩恵に感謝すべく、今後も日本人留学生への支援と協力を拡大していきたい」と、メッセージを寄せてくれました。

台中文心ＲＣが創立 10 周年記念式典を開催

記念式典に駆けつけた台湾米山学友会メンバーらと

４月 22 日、台湾・台中市内のホテルで、台中文心ＲＣの創立 10 周年記念式典が開催されました。

同クラブは、2007 年に台中の米山学友を中心に発足。初代会長を郭錦堂さん（1984-86／相模原中ＲＣ）、第２代会長を王飛龍（ワンフェロン）さん（1984-87／東京神田ＲＣ）が務め、今年度クラブ会長を務めるのも、学友の何淑鈴（ホ シュリン）さん（1984-85／東京城東ＲＣ）です。

何さんによると、創立時 32 人だった会員は、この 10 年で 61 人と倍増。米山学友の創立会員８人のうち、結婚、出産や海外転勤などで４人が退会するも、日本からゲストを迎える際には通訳に駆けつけるなど、クラブとの繋がりは続いているそうです。同クラブでは、台湾の高山部集落への水道設置や、貧困児童・学生へのＩＴ教育支援などの奉仕活動に尽力するほか、台湾米山学友会の「日本人若手研究者対象奨学金」に毎年定額を寄付して協力しています。記念式典には、学友会のメンバーも駆けつけ、喜びを分かち合いました。

この 10 年を振り返り、「ロータリーに入会してから、いろいろ勉強させていただき、社会に奉仕できることを光栄に思っています」と語る何さん。今年度は、新たに相模原中ＲＣ（神奈川県）と友好クラブを締結し、今後一層の国際奉仕、国際親睦活動に励みたいと、意欲を新たにしています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

お知らせ

●2017年6月のロータリーレートは
1ドル＝110円

ロータリー財団寄付者

寄付の種類	名　前	クラブ名	寄付の月日
年次基金	脇　　弘幸	釧路ロータリークラブ	5月1日
冠名基金	清水　幸彦	釧路ロータリークラブ	5月8日
MPHF3回目	髙野　　徹	旭川南ロータリークラブ	3月29日
PHF	中川　明雄	旭川南ロータリークラブ	3月29日
PHF	林　　秀敏	旭川南ロータリークラブ	3月29日
PHF	松山　寛之	旭川南ロータリークラブ	3月29日
PHF	南口　龍幸	旭川南ロータリークラブ	3月29日

米山功労者

名　前	クラブ名	寄付の月日
山崎　雅史	稚　　内	4月20日（1回・米山功労者）

文庫通信（356号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万４千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

◎「ロータリーと茶の心」	千　玄室	2017　4p（D.2690地区大会記念誌）
◎「日本ロータリーの昔話４～7」	深川純一	伊丹R.C.　2016　4p（純ちゃんのコーナーPartXV）
◎「日本のロータリアンの使命」	塚原房樹	2016　2p（D.2510月信）
◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」	三木　明	2016　1p（D.2680月信）
◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」	藤林豊明	2016　2p（D.2580地区大会記念誌）
◎「ロータリーの魅力とは何だろう」	富田英壽	2017　2p（D.2700月信）
◎「RIの向かっている道（三つの側面を通して）」	桑月　心	2017　2p（D.2630月信）
◎「今までの100年・そして現在」	久世晴雅	2016　4p（D.2680地区大会記録誌）
◎「会員を引き込む」	RLI日本支部	2015　3p（RLI参加者テキスト）
◎「ロータリー財団を正しく理解する」	鈴木一作	2016　5p

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル３階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　　休館＝土・日・祝祭日

RI2500地区

例会出席率＆会員数推移

2017年4月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数			
				16年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼　文	3	79.0	14	14	0	0
	利　尻	3	88.0	18	18	0	0
	利尻島	3	78.6	16	14	-2	1
	天　塩	3	83.3	9	10	1	3
	豊　富	4	100.0	21	21	0	0
	稚　内	4	92.4	48	48	0	2
	稚内南	3	93.6	35	39	4	3
	計		87.8	161	164	3	9
2	美　深	3	85.6	26	27	1	0
	枝　幸	4	77.3	21	22	1	0
	名　寄	4	89.7	54	56	2	1
	中頓別	4	82.5	16	15	-1	0
	士　別	3	86.2	44	46	2	1
	下　川	4	87.5	4	5	1	0
	計		84.8	165	171	6	2
3	旭　川	4	78.3	75	80	5	0
	旭川東	4	88.7	38	35	-3	0
	旭川北	4	86.4	40	44	4	3
	旭川南	3	97.0	33	34	1	0
	旭川西	4	81.7	49	53	4	6
	旭川東北	4	86.7	14	16	2	2
	旭川モーニング	4	86.5	26	26	0	5
	旭川空港	4	72.9	12	12	0	4
	美　瑛	4	61.8	23	25	2	0
	富良野	4	100.0	42	44	2	2
	上　川	4	75.0	12	10	-2	0
	2500REクラブ	4	78.6	20	21	1	0
	計		82.8	384	400	16	22
4	遠　軽	4	78.0	38	38	0	1
	紋　別	4	71.4	34	34	0	0
	紋別港	4	87.9	36	35	-1	0
	中湧別	4	80.8	11	11	0	1
	興　部	3	71.0	16	16	0	1
	雄　武	4	68.8	13	12	-1	0
	滝　上	3	84.5	17	15	-2	0
	計		77.5	165	161	-4	3

第2500地区 全体67クラブ	16年7/1会員数	4月30日会員数	増減	平均出席率
	2,258	2,317	59	81.7 %
女性会員数		96		

分区	クラブ名	例会数	出席率（%）	会員数			
				16年7/1	当月	増減	女性会員
5	網　走	4	99.2	46	45	-1	6
	網走西	4	87.4	48	48	0	0
	美　幌	4	85.4	54	56	2	2
	北　見	4	78.5	53	56	3	4
	北見東	4	90.5	58	58	0	2
	北見西	4	89.2	59	58	-1	0
	清　里	4	85.6	30	28	-2	0
	留辺蘂	4	87.8	29	27	-2	2
	斜　里	3	89.0	39	41	2	3
	計		88.1	416	417	1	19
6	足　寄	4	71.8	28	33	5	2
	広　尾	4	75.0	18	19	1	0
	上士幌	3	71.0	13	14	1	0
	芽　室	4	84.0	33	32	-1	0
	帯　広	4	76.5	93	90	-3	5
	帯広北	4	74.0	67	70	3	1
	帯広西	4	79.6	72	73	1	3
	帯広東	4	82.1	39	39	0	2
	帯広南	4	89.2	72	77	5	9
	音　更	4	70.4	36	38	2	2
	清　水	4	80.6	23	24	1	3
	計		77.7	494	509	15	27
7	釧　路	4	84.1	97	98	1	0
	釧路東	4	61.0	31	36	5	1
	釧路北	4	85.0	73	79	6	3
	釧路南	4	78.0	25	25	0	5
	釧路西	4	78.4	28	29	1	1
	釧路ベイ	4	88.7	24	22	-2	1
	音　別	4	69.0	15	17	2	0
	白　糠	4	83.3	9	9	0	0
	計		78.4	302	315	13	11
8	厚　岸	4	69.1	16	16	0	0
	別　海	4	76.6	16	18	2	0
	浜　中	4	86.4	12	12	0	0
	中標津	4	60.6	22	22	0	1
	根　室	4	81.1	37	40	3	1
	根室西	4	86.2	49	52	3	0
	弟子屈	4	78.5	19	20	1	1
	計		76.9	171	180	9	3
総　計			81.7	2,258	2,317	59	96

Rotary

国際ロータリー第 2500 地区
2016 − 2017 年度　ガバナー
駒 形　　曙 美

■ガバナー事務所
〒070-0033　北海道旭川市３条通11丁目　グリーンコーポ三条1Ｆ
TEL.0166-29-5310　FAX.0166-29-5320
E-mail : info@rid2500.jp

2016-17 RID 2500 GOVERNOR
AKEMI　KOMAGATA
■GOVERNOR'S OFFICE
Green Corp. 3jyo 1F, 11-chome, 3-jyo
Asahikawa, Hokkaido, 070-0033 JAPAN
Phone +81-166-29-5310 FAX +81-166-29-5320
E-mail : info@rid2500.jp

http://rid2500.jp